

ボランティア

# 女性教育情報センターだより

2022.12.8 発行 国立女性教育会館情報ボランティア No.96

特集

いのち

## 生命の安全教育を学ぼう 女性教育情報センター テーマ展示 (2022年10~12月)

令和2~4年度は性犯罪、性暴力の根絶に向けた対策の強化期間です。子どもたちが、性犯罪・性暴力の被害者、加害者、傍観者にならないよう生命の安全教育について学ぶため、関連資料を展示しています。ユネスコは、2018年、『国際セクシュアリティ教育ガイダンス: 科学的根拠に基づいたアプローチ』(改訂版)を発表しました。性教育を、人権・ジェンダー平等という枠組みの中で捉え、「性と人間関係」についての包括的な学びを提案しています。



展示資料の詳細、ブックロク展示、本、あり。はこちらから。  
<https://www.nwec.jp/event/center/index.html>

日本語版 浅井春夫 [ほか] 訳 明石書店 2020.8

## 正しい知識は早いうちから！—幼少期から始める性教育

国際的潮流として幼児期からの性教育の必要性が指摘されています。日本でも最近ようやくその重要性が注目されるようになりました。幼くても性犯罪に巻き込まれるリスクはあります。子ども自身が自分を守るため、親にとっては子どもが巻き込まれるのを防ぐため、自分のからだに対する関心を持ち始める時期に、親子で、からだ、こころ、性について考え、「プライベートゾーン」(※p.4キーワード参照)や人と人とのつながりなどについての知識や感覚を学ぼうという考え方が共有されるようになってきました。



こんな教材も！～「ここからかた」

あなたのからだは  
いつだって  
あなただけのもの



### 性教育に「早すぎる」はみい！

「自分やみんなのこころ・からだ・性を大切にすることを育てる」ことを目的に作られた。

(染矢明日香考案 長香織監修 合同出版 2022.8)

カラフルで親しみやすい資料がそろいました。

[yk/写真 af]

## 高校生が取り組む

# 中学生への性の出前授業

～筑波大坂戸高生による意欲的なアクション～



HUG チームのPPT 資料の表紙

NWECから電車で20分のところにある筑波大学附属坂戸高校。ここで、中学生に向けて「性教育の出前授業」を行うグループがあると聞き、取材した。HUG という3人の生徒さんのグループである。

— まず、筑坂のT-GAPとはどのような学習が教えてください。

**DM** 筑坂には何かしらの社会課題の解決のためにアクションするという授業があります。それがT-GAP (Tsukusaka Global Action Program) です。自分たちで課題を出し合い、グループを作って課題解決のためのアクションを行うのです。例えば、過剰包装、食品ロス、LGBTQ、生理の貧困などに取り組むグループがあります。

— 性教育をテーマに選んだ理由は？

**DM** 自分たちが受けてきた性教育が不十分だと思ったからです。避妊とか、予期しない妊娠とか言われても肝心のことが伝えられていないことにもどかしさを感じました。

**つくさか**  
**筑波大学附属坂戸高校 (通称筑坂) はこんな学校**

**国際バカロレア認定校**：国際的な大学入学資格の取得が可能。

**主体的な学習**：自分で「学び」をデザインする。課題解決を目指す授業が多数あり、グループや個人で「自分ごと」として探究する。

**自由な校風**：学校が指定する日以外は私服OK。校則の見直しも始まる。

(同校 学校案内・HPより)

**MT** 私も同じです。中学の授業では当たり障りのない内容を教えるだけ。「性感染症は怖いよね」とか、「早期妊娠は良くないよね」とか、リスクをどうすれば軽減できるのか、具体的に教えてくれないのです。

**IH** 活動開始当初、3人の中で私が一番性教育に興味がなかったというか知らなかった。自分の知識の少なさにショックを受けました。もし、中学のとき、性のことをきちんと教わっていたら妹に聞かれたときもちゃんと応えられたと思うんです。中学でちゃんと性の知識を身につけられるよう取り組んでみたいと思いました。

— 具体的にどんな活動をしているのですか。出前授業のなかで寸劇をなさると聞きましたが、

**MD** 自分たちで勉強しながら、性教育に取り組んでいる専門家や団体にコンタクトをとり、そこから高橋幸子先生\*をはじめいろいろな人達とつながりができ、11月に行われる高橋先生の講演の一部を担わせていただくことになりました。中学生にいきなり避妊の話をして引いちゃう子がいるかもしれないし、「オレ、どうせモテないから関係ねーよ」なんて子もいるかも。そういう子をおいてきぼりにしないように、性行為や妊娠だけに焦点を当てるのではなく、中学生でも身近に起こるかもしれないデートDVの話寸劇にして、「なぜこんなことが起きるのだろう？」と問いかけたい。

— なぜ、対象を高校生ではなく中学生にしたのですか。

**MT** 中学生と高校生では恋愛の活動レベルは違うし、性被害にあわないためにも義務教育のうち知ってもらいたいと思いました。



高橋幸子先生は産婦人科のお医者さん。性教育に熱心に取り組んでおられます。左は先生の著書です。

『サッコ先生と！からだこころ研究所：小学生と考える「性ってなに？」』  
(リトルモア出版、2020.11)

## — 皆さんの活動の意義は？

MT 遅れている日本の性教育を前進させたい。それが私たちの最終的な目標です。（ほかの二人も頷く）

DM 知識を教えるのは先生とか助産師さんなど専門家だと思うけど、自分たちは思春期の中学生と大人の専門家をつなぐパイプ役が果たせると思う。「自分には関係ない」って思っている子に語りかけたい。

IH 性の問題はその人の人生、これが正解というのはいないけれど、自分を大事にすることの大切さを伝えたい。

## — T-GAPフェスタ（文末囲み欄参照）でワークショップをなさいましたね。いかがでしたか？

IH とくに性の問題に関心があるというより、親に言われて参加したという感じの子が多かったです。大人を交えず、中学生と私たちだけでやったのはよかったです。

MT 例えば「性的同意」  
（※p.5キーワード参照）の問題については、「友達を家に呼んで一緒に勉強しているときにこんなことが起こったらどうする？」と

**中学生とともにワークショップ（T-GAPフェスタにて）**


**性的同意**  
紙芝居を見て思ったことを書き出す、理想のパートナー関係についてまとめる

**デートDV**  
劇を見て、思ったことを書き出す

**人間関係**  
今までを振り返ってみる・どんな感情を抱くか書き出す

中学生たちとともに、考え、作業し、語り合う

↑ フェスタに使用した PPT 資料の一部



なことが起こったらどうする？」と パネルを見ながら考えてもらいました。

DM この日の中学生の反応などをよく考えて、出前授業当日の進め方に生かしたいと思います。

## — 最後に、皆さんのグループ名の HUG とはどういう意味か教えてください。

MT 性の知識を身につけて、自分で自分を守る、自分を大事に抱きしめようという思いから名づけました。それと、こじつけになりますが、HUGは *Human is Unique Gift.* の頭文字です。人間は一人として同じ人はいない存在だということ、性の多様性にもかけました。

ボランティア同 あ〜、それは素敵なネーミングですね！

## T-GAPフェスタをのぞいてみました。

10月30日、同校で実施されたT-GAPフェスタ2022（中学生・保護者対象のイベント）を拝見した。ワークショップの担当の生徒さんだけでなく、案内や受付の生徒さんもみなきびきびと活動している。そして、規格外農産物で作ったスナック菓子の販売や、保護ネコ・イヌの譲渡会など、あちこちで活気のあるアクションが展開されていた。

担当の先生から HUG チーム以外のジェンダー問題に関するグループの一つとして紹介していただいたのが、生理の問題に取り組む女子3名、男子2名のチーム SUS∩ME。“未来の「ニンゲン」を守れ”とのタイトルで、災害と生理用品、スポーツと生理用品などをテーマに中学生や保護者と活発なワークショップが行われたとのことである。

PPT 画像提供：HUG / 写真：HUG・yk

本番の出前授業は11月15日に行われました。寸劇は大ウケだったとか。次号でお伝えします。

[sm / yk]



# 生命の安全教育 =

## 「自分を大切にすること」を学ぶこと

### 小学校では

幼児期から思春期の入り口に至るまでの児童が在籍する小学校では、学年によって学習内容に大きな隔りがある。

初めはお風呂の入り方やトイレの使い方を学び、自分の体に関心を持つことから始まり、いわゆるプライベートゾーンを意識させる。もちろん、自分の大切なところはプライベートゾーンに限っているわけではなく、心と身体を尊重する意識を持つことを学んでいく。

4年生になって保健学習が始まると、第二次性徴について学ぶ。初経や精通という言葉を知るのもこの時期である。

高学年になると、理科など他の教科と関連させながら受精や生命誕生の仕組みを知る。赤ちゃんを連れた親子を教室に招き、妊娠が判ったときの喜びや無事に生まれるまでの苦労や思いを語ってもらい、かけがえのない存在として生まれたことを子どもたちに伝える「誕生学」を行う学校もある。そうして、自分の性を正しく受けとめ、思いやりのある人間関係をつくれるようにする。



小学校での性に関する指導は、道徳や保健だけでなく、全教科・領域の中に組み込まれている。たとえば算数の文章題の名前は、昔々は「太郎くん」「花子さん」、次いで「勝雄くん」「雪子さん」など多様になり、いつの間にか「ひかりさん・かおるさん」というジェンダーニュートラルなものになっている。性に関する表現は、人権教育の一端をも担っているのである。

[mn]

### キーワードから読み解く生命の安全教育

#### キーワード① プライベートゾーンは水着で隠れる部分だけ？

令和2年より文部科学省では、子ども達が性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、幼児期から大学生までを対象に「生命（いのち）の安全教育」を推進している。すべての発達段階を通して一貫して指導することは、自分と他者の心と身体を尊重することで、「自分の身体すべてが大切な場所」だということだ。しかし「水着で隠れる部分がプライベートゾーン」という情報が世の中に浸透して、身体すべてが大切であるという意識は低いかもしい。「プライベートゾーン以外の部分も含め自分の体は自分だけのものであり、それをどう扱うかも自分で選択できる」ということを若いうちから意識することが大事であり、その意識が性犯罪を減らすことにつながる。肩や頭でも触られて不快だと感じたら「やめて」と拒否して良いのだ。自分の体を大事にしてほしい。そして、他者の体も同じように大事にしたい。

[sm]

じぶんだけのだいじなところをさわられていやなきもちになったら、「いやだ!」といおう。にげよう。あんしんできるおとなにはなししよう。



出典：文部科学省 HP

水着でかくれる部分は、自分だけの大切なところ



出典：文部科学省 HP

## キーワード② 性的同意 ～ 意志が尊重される関係づくりを目指そう



自分の体を他者が見たり触れたりして不快だなと感じたときに、その気持ちを伝えないと誤ったコミュニケーションが生まれる。相手が身体的接触を親密さと勘違いした結果、性的な行為に発展し性被害に遭う可能性がある。

性的同意\*とは、性行為の際にお互い積極的に性行為を望んでいるか確認をとることだ。英語では Sexual Consent (セクシャルコンセント) という。

ここでいう性行為には手をつなぐことや身体に触れること、キスすることも含まれる。自分が相手と性的な行動を望むとき、相手も自分と同じように望んでいるか確認することが大事だ。逆に、相手の性的な行動を自分は嫌だなと思ったら、その気持ちを相手に伝えよう。カップルなら当然だとか、キスしたらセックスも受け入れてくれるだろう、と自分勝手に解釈しないことだ。どんな人でも大切な存在だから、相手に合わせて自分を犠牲にしたり、反対に、自分の思い通りに相手をコントロールしたりせず、対等な関係づくりを目指したい。

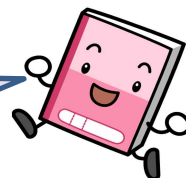
(\*引用：命育ホームページ <https://meiiku.com/howtonavi/sexualconsent/> )

[sm]

### 「0歳からはじまるオランダの性教育」

リヒテルズ直子著 日本評論社 2018.6

読んで  
みました



性にオープンな国だと思っていたオランダが、1960年代初めころまで、キリスト教倫理による道德意識が厳格で、保守的な国だったとは驚いた。それが、1970年代初めころまでの間に、カトリック教徒の中からの変化、女性解放運動、医師たちによる家族計画・避妊促進運動、LGBTの権利擁護運動などの様々な活動がタブーを打ち破ってきたのだそう。

とはいえオランダは今も、原理主義的なキリスト教信者が一定数おり、また労働者として流入してきた移民たちの割合が増え、異なる文化・宗教を持つ人たちとの間で性意識の乖離が生まれている。オランダ社会に確立されてきたはずの人権意識が揺らいでいる。この現実に対し、国は2012年、初等・中等教育での性教育の義務化に踏み切ったのだ。義務化を機に、性的マイノリティの人々の人権を尊重する「性の多様性」教育も柱の一つとなった。

国が整えたカリキュラムはあるが、学校はこれを指標にはするものの、臨機応変に、目の前の子どもたちの関心やニーズに合わせて、多様な教材や手法を用いて、安心できる雰囲気の中で、能動的な学びができるよう進めている。障害児の性教育は、さらに一人ひとりの異なるニーズに合わせた対応・配慮がされているが、その目的を読んで、はっとさせられた。「セックスを楽しめるようになること」も挙げられ、徹底して全ての人に性の権利を保障しているのだ。

60年前までは性をタブー視していたオランダ社会の変化には、日本も学ぶところが大いにある。「教育は未来社会へのビジョン」という著者の言葉が胸に響く。

[tk]

#### 図書紹介



「生理」と「セックス」を子どもに正しく伝えるための本

宮川三代子著  
PHP出版 2022.2



読んでみない？からだのこと。

明橋大二監修  
高橋書店 2022.7

# お知らせ



NWEC ボランティアの会提供  
**多世代ワールド・カフェ**  
～暮らしの中のジェンダー不平等を考える～

日時：12月18日(日) 10:00～12:30  
場所 Zoom 定員：40名  
対象：高校生・大学生・一般  
申込：NWEC フォーラム 2022 特設サイト

[https://www.nwec.jp/event/training/g\\_forum2022.html](https://www.nwec.jp/event/training/g_forum2022.html)

## 国立女性教育会館(NWEC)の専門図書館「女性教育情報センター」

出展しました

図書館界最大のコンベンション

### 第24回図書館総合展 2022\_ONLINE\_plus

2022年11月1日～30日

#### オンラインイベント

**11月18日 15-16時 Zoom**  
「ジェンダー資料をまとめてお届け！  
NWECパッケージ貸出サービス」

男女共同参画やジェンダー関係の所蔵資料をテーマに合わせてお届けするNWECパッケージ貸出サービス\*を利用した図書館による活用事例を紹介しました。

\*イベントや展示、授業や研修の参考資料としてご利用ください。

⇒<https://www.nwec.jp/database/lease/index.html>



ポスターセッション

谷口情報係長から

出展します



### 図書館と県民のつどい埼玉

2022年12月10日、11日

オンライン & 後日配信

<https://www.sailib.net/tudoit2022/>

司書が魅せる！WEB展示

12月10日(土)～1月31日(火)

**SDGs ゴール5『ジェンダー平等』を学ぼう**  
対象者別図書案内

「ジェンダー平等」社会の実現には、まずは一人一人が取り組むべき問題がある現状を知り、理解することが大切です。そのサポートになるような参考図書を紹介しました。

## 編集後記

- ・高校生と会う機会が増えました。元気を貰っています！ (yk)
- ・統計を見るとまだまだでも、高校生の取組みに希望の光 (af)
- ・性(セクシャリティ)は人を幸せにすると信じたい。(tk)
- ・改めて「性教育」について見つめ直す機会をいただいた気がします。(mn)
- ・最近、世界各地で地震が起きているので心配です。(sm)
- ・ジェンダー平等に気付ければ性教育は完成。(yh)
- ・若者の意識は確実に向上。世代を超えて意識の変革を。(co)

## 情報センターだより 96号目次

- p.1 幼少期から始める性教育
- p.2/3 高校生による中学生への性教育の出前授業
- p.4/5 小学校での生命の安全教育  
キーワードから読み解く生命の安全教育
- p.5 読んでみました
- p.6 お知らせ・編集後記